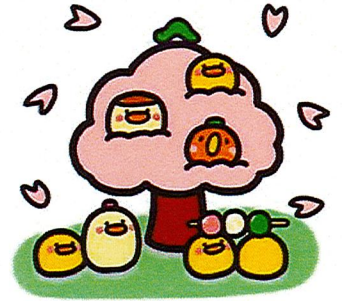




入園おめでとうございます！

～愛のひだまりの中で心豊かに育つ～

社会福祉法人温和会
ひだまり認定こども園園長 阿嘉禎貴



色とりどりの草花、木の芽萌えと心地よい春風を感じる季節の中、新年度がスタートしました。ひだまり認定こども園への入園、そして進級するお子さん、保護者の皆様、おめでとうございます。それぞれにお子さんの成長の節目のこの時期を、期待と緊張で胸を膨らませている事と思います。キラキラと輝く瞳の子ども達を迎えてのスタートに、職員一同心より嬉しく思います。

我が社会福祉法人温和会は長年、保育、教育に邁進してまいりました。その実績を活かし、「愛の絆の中で心豊かに育つ」を保育理念に子ども達の笑顔や歌声が絶えない保育園を目指します。保護者の皆様が、我が子の育ちに拍手が送れるよう職員一同一丸となって頑張る所存であります。どうぞ皆様のご協力、ご鞭撻の方宜しく申し上げます。



保育目標

- ★集団生活の楽しさを味わい、園生活に早く慣れる。
- ★園生活に必要な決まりや、基本的な生活習慣を身に付ける。



園生活における協力願い

- ◎朝の会は、9:30に行い、10時からは教育時間が始まります。楽しい一日が、スムーズに始められるように9:30までに登園させてくださいね。
- ◎朝の登園の受け入れの際は、保育士にきちんと引き渡すようお願いいたします。
- ◎登降園時の門の鍵の確認をよろしくお願いいたします。(鍵の閉め忘れのないように！！)
- ◎携帯電話や職場などの連絡先が変更になった場合は、すぐに担任までお知らせください。※緊急の連絡(病気やケガ)の際に、必要となります。お子様の命を守るために、ぜひご協力、よろしくお願いいたします。
- ◎父母の方以外の方がお迎えする際は連絡帳、もしくは電話等で事前にご連絡ください！
- ◎お休みをする際は、電話、口頭、連絡帳などで必ずご連絡よろしくお願いいたします。
- ◎持ち物にはすべて名前の記入をよろしくお願いいたします。

～今月の行事予定～

- 1日(水): 入園・進級式
- 8日(水): 避難訓練
- 10日(金): 身体測定
- 18日(土): 職員研修会
- 22日(水): こいのぼり掲揚式
- 23日(木): お誕生会 (愛情弁当持参)
- 27日(月): 役場こいのぼり掲揚式(すいか組のみ参加)



クラス担任の変更について

入園式から約1週間が経過し、こども達もお友達ができ日々過ごしている状況があります。慣らし保育期間中ではありますが、クラスの様子を鑑みて担任の変更を行う事にしました。
みかん組: 下地祥人先生、りんご組: パーゲナーゆうな先生
4月13日よりこのようになります。よろしくお願いいたします。



園長:阿嘉禎貴
副園長:伊波論作
主任:具志堅青佳
事務:神里杏奈
看護師:富田孝幸

みかん組(3歳児)

- ・下地祥人
- ・宮里果歩



もも組(4歳児)

- ・楚南由美子
- ・高宮城秀美



すいか組(5歳児)

- ・豊原綾桂
- ・立津則子



フリー

- ・島袋真理子
- ・山城ナミ子
- ・松原若菜
- ・川満玲衣
- ・仲本ケイ子



キッチン

- ・照屋志保子
- ・新垣真弓
- ・上地美奈
- ・照屋由梨香



さくらんぼ組(0歳児)

- ・中村利恵
- ・富田孝幸



いちご組(1歳児)

- ・普久原優子
- ・川満真由美



りんご組(2歳児)

- ・砂川紀子
- ・パーゲナーゆうな
- ・呉屋壱成



関係各位

～子育てへのメッセージ～

社会福祉法人温和会
理事長 阿嘉よね子

『子どもたちの真っ白な心のページに、筆を入れるのは誰?』

0歳児～就学前までの子ども達が、入園進級する中で、毎年思い出すことがあります。それは、以前3歳～5歳児までの幼稚園を運営している時のことです。

県外の方で、沖縄県に赴任が決まり、沖縄県の中部に住まわれるとの事で、私が経営しておりました「北谷中央幼児学園」に3歳のお子さんが入園してきました。そのお子さんが4歳で進級の時です。「どうしても、園長先生に時間をとって頂きたい!話したいことがあります。」職員からその話を聞いた時、かなり教育熱心な方なので、お叱りかな?それともご意見かな?と緊張しながら話を聞きましたところ、「阿嘉先生にどうしても話しておきたいことがあります。それは現在、私たち夫婦は医者であり、主人が琉大の外科医で私は、産婦人科医です。先生の所に就学前まで教育して頂きたかったのですが、残念ながら、今回ドイツの大学から呼ばれてドイツに行くことになりました。私がどうしても先生に残していきたい事は、私、産婦人科の仕事は、お母さんのお腹の中からお子さんを出してあげるだけの仕事です。でも阿嘉先生の仕事は、生まれたての赤ちゃんの真っ白な心(ページ)に筆を入れていく仕事です。その筆が愛情深く丁寧に幼稚園まで書き込んで、小学校に上げていけば、小学校の先生は、その心のページが丁寧に書き込まれているので、続けていく先生の筆も丁寧にきれいに書いていくでしょう。ですから保育園の先生、幼稚園の先生方の仕事は、大きな責務があります。子ども達の人生の幸福になる基礎を作る仕事ですので、小学校、中学校、高校大学の先生、そして私、産婦人科医よりも偉い職業だと思えます。生まれたての赤ちゃんに最初に愛を吹き込む親の責任が大きい、6ヶ月から預かる皆さんが長い時間かわかります。阿嘉先生!どうぞお仕事に誇りをもって、子ども達が幸せな人生が歩めるよう頑張ってください!期待しています!

この言葉が、常に私を奮起させ大きな責任を感じるところです。心の中で「この子がいつも幸せでありますように…」とつぶやきながら、子どもと関わってまいります。